学校紹介新聞

茨城県立 太田西山高等学校

◆校　長　谷津　勉
◆生徒数　470人
◆創　立　2019年
◆住　所　常陸太田市新宿町210

わが校の独自（どくじ）オンリーワン

新入生ガイダンスでは自己紹介（じこしょうかい）を通してコミュニケーションの取り方を学ぶワークショップが行われた

生きていく力育てる

本校独自の取り組みとして、「ライフスキル」があります。ライフスキルでは生きていくために必要な資質・能力を身に付けることを目的としています。例えば、コミュニケーショントレーニングを行っています。自分自身の気持ちをコントロールする能力や、あいさつ、思いやり、家族や友人などと温かい人間関係を結ぶためのコミュニケーション方法について学びます。

また、地域探究の一環として、常陸太田市の歴史や文化、観光などの産業や名産品について調査し、地域の課題やその解決方法について考察します。それにより生徒が地域のために何ができるかという課題解決に対する意識を持たせることができます。「ふるさと＝自分のやりたいことに挑める場所」であるという認識を深め、将来、地域で活躍する人材を育成することを目的としています。　（教諭　平山博敬）

こんな学校です！

右上から時計回りに、特進コース、福祉保育コース、教養コース、商業コースの授業風景

多様な進路希望に対応

太田西山高校は、太田第二高校と佐竹高校が合併してできた創立４年目の新しい学校です。本校では２年次より、大学進学を目指す「特進コース」、公務員や専門学校を目指す「教養コース」、資格や実習での経験を生かし、専門性を生かした就職を目指す「福祉保育コース」と「商業コース」の四つのコースに分かれています。私たちの進路希望はとても多様で、それらの希望に沿えるよう、コースごとにきめ細やかな指導や対応が受けられます。

また、本校は地域社会で活躍できる人材の育成を目指しています。地域の方々から講義をしていただいたり、実際に常陸太田市内の史跡を歴史的観点で散策したりと、たくさんのことを体験しています。先が見えない社会の中でよりよい未来を創造できるよう、地域を深く知り、知識や経験を得て、将来は地域社会で活躍したいと考えています。

（生徒会長　３年　田中絢弓）

ぐぐっとカリキュラム

学校の設備を使ってベッドメーキングの実習。メモを取りながら真剣（しんけん）に聞き入る生徒たち

外部の専門家から学ぶ

福祉保育コースでは、介護福祉士講座や言語聴覚士講座、保育に関する講座など外部講師の授業を数多く実施しています。地域とのつながりを持った特色ある科目として設定した「介護過程」という授業では、さまざまな職の専門家から、地域の社会資源や多職種間の連携について学びます。また、介護職員には、「介護計画」を立てるという業務があります。利用者の日常生活動作や生活の質の向上につながる計画を立案する重要性を学びます。

福祉や保育を学ぶ県内の高校で、これほどさまざまな職の専門家を招いた授業を実施しているのは、唯一本校のみです。さらに、本校には介護実習室に入浴やトイレの介助の実習などを行う設備が充実しています。今後生徒が、医療・福祉の現場で即戦力として活躍できるよう、このような学びを大事にしていきたいと思います。　（教諭　斉藤浩世）

地域との交流

そば打ち全国大会入賞

いばらき蕎麦の会メンバーと練習に励（はげ）む３年生（左）

本校は地域連携企画を数多く実施しています。その中から三つの体験活動を紹介します。

そば打ち（全国大会出場）　いばらき蕎麦の会や常陸太田市の支援の下、３年生５人が第12回全国高校生そば打ち選手権大会に出場し、敢闘賞を受賞しました。そば打ちを通して地域の方々と交流を深めています。

マーケティング実習（商業コース）　「地域観光ビジネス」の授業で、マーケティングの一環として、商店街の協力により、生徒が店舗にある浴衣の組み合わせを考え、着用し、撮影したものを交流サイト（ＳＮＳ）に発信するという、販売の準備までを体験しました。

保育体験（福祉保育コース）　地元の保育園で実習をしました。園児とのコミュニケーションの取り方、保育士の仕事内容や心構えなどを伺い、実際に園児と接する体験をしました。　（講師　宇留野かおり）

次回は９月14日　茨城県立水戸工業高等学校です